HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	北海道大学附属図書館報「楡蔭」140号
Issue Date	2012-03-29
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/66239
Type	journal
File Information	yuin140.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

ISSN 0917-3684

Hokkaido University Library Bulletin No.140 Mar.2012

掬薗

Yuin 北海道大学附属図書館報

目　次

「北大図書館であたりまえのこと」
事務部長　藏野　由美子…… 1
「ビブリオバトルin北海道大学附属図書館」の開催
…… 3
文献検索・文献収集法等の指導に関する
アンケート調査について（報告）…… 5
お知らせ
・来館日誌（平成23年11月～平成24年２月）…15
・学生ICカード・職員ICカードに
図書館サービス対応……16
・HUSCAPに新機能「著者識別子」がつきました…17
・国立女性教育会館所蔵図書の貸出サービス
継続中……18
・「初任図書館職員研修」を開催しました……19
・「出向者連絡会」を開催しました……20
学術成果コレクション（HUSCAP）収録文献……21
教員著作寄贈図書……21
平成23年度特別図書購入費による購入資料……22
会議（平成23年11月１日～平成24年２月29日）…26
人事往来……27
図書館情報入門・セミナー等開講日誌
（平成23年11月１日～平成24年２月29日）……27
図書館日誌
（平成23年11月１日～平成24年２月29日）……28

「北大図書館であたりまえのこと」

附属図書館事務部長　**藏野　由美子**

４つの大学と１法人の図書館で33年仕事をし，今年度，北大図書館を最後に定年を迎えます。職員が10名の単科大学図書館，一方で300名を超す総合大学の図書館に勤め，その間様々な規模の図書館を見学したり，話を聴いたりという機会がありました。平成21年４月に北海道大学に着任してからの３年間に感じた「北大ならでは」と思うことを記しておきたいと思います。

北海道大学で先ず特筆すべきは，この広くて美しいキャンパスでしょう。しかも，都心にあって，水産学部以外の全ての部局が１キャンパスにまとまっています。少なくとも日本国内で，環境と立地，双方においてこれほど恵まれた大学は無いと断言できましょう。その中でも図書館本館は中央ローンに面し，昨年完成した新棟からの眺望は格別です。

平成19年度に附属図書館は，それまで各部局図書館・室で行っていた図書や雑誌の発注，受入，目録という管理業務を水産学部を除き，本館の管理課，学術システム課に統合しました。

それにより，定員職員を15名削減しています。旧七帝大といわれる規模の大学において，受入や目録業務の集中化を実現している大学はありません。また，部局を含めた図書館職員の定員管理が事務局長の下にあり，指揮命令系統上は附属図書館事務部として附属図書館長の下に置いているのも北大独自のものです。北大で業務の集中化が実現したのは，図書館単独ではなく，「事務改善委員会」において，事務改善の一環として，時間をかけて検討した結果であると思います。また，全学の図書分類を「デューイ十進分類法」に統一していたということも業務の集中化には重要な要素であったと言えましょう。大規模大学では，往々にして学部ごとに独自の分類表に従って分類しています。

現在，北大の蔵書約380万冊の内，93%（353万冊）が「北海道大学蔵書目録」（OPAC）で検索できます。目録所在情報の電子化の率は，国立大学の平均が72%であり，北大の93%は誇って良い数字です。これは，全国規模の総合目録データベース（NACSIS-CAT）に参加した翌年の昭和62年から遡及入力事業を開始し，計画的に遡及入力を進めてきたことによります。

大学の教育研究成果を電子的に保存し，広く公開する「学術機関リポジトリ」は，近年急速に広がり，北大でもいち早く，平成18年からHUSCAPの名称で公開しています。HUSCAPは，システム管理係が統括していますが，平成22年から部局図書館・室職員が文献の登録を担当しています。所属部局の教員の研究動向を知り，登録数を増やすために研究室を訪問するなど，図書館と教員の新たな関係を築きつつあります。これも，北大ならではのことです。また，「デジタルリポジトリ連合」の事務局として創立時より全国のリポジトリ担当者のネットワークにおいて重要な役割を果たしています。

さて，次は，これからのことです。業務の集中化から 5 年が経過し，いくつかの課題も見えてきました。平成19年の図書系事務組織の再編に当たっては，業務分析を踏まえ，各部局の様々な要素を指数化して人の配置を決めましたが，基盤配分経費が毎年減額される現状を踏まえ，その見直しが必要な時期であると考えます。また，業務の集中化により 7 部局が一人図書室になりました。附属図書館，部局図書館・室間のコミュニケーションを如何に良くしていくか，その検討を始めたところです。



法人化以降，図書館予算が削減されながらも，これまで目的積立金を充当するなどして学生用図書を充実してきました。しかし，今後のさらなる厳しい予算を考えると，学生用図書の選定はより厳しいものとならざるを得ません。附属図書館の本館，北図書館，そして部局図書館・室のあり方，機能について全学的な検討が必要と考えます。

学生の活字離れが指摘されて久しい今日，北図書館はこの10年で入館者数は 1.5 倍，貸出冊数は 2.2 倍の増という，図書館として非常に喜ばしい状況にあります。この背景には，蔵書の充実等の図書館の努力もさることながら，平成18年度の新教育課程の実施，「単位の実質化」等の成果が考えられます。図書館は学生の教育についてより深く知るべきと考え，学務部をはじめ，アカデミック・サポートセンター，ピアサポート等との連携に着手したところです。大学図書館の使命の大きな柱である「教育・学習支援」の責任を重く受け止めるとともに，今後の可能性に大いに期待します。

本館は，今年度末には，「附属図書館再生事業」が完了し，夏には図書の再配置も終了し，全館，新図書館としてスタートします。重要なのは，新しい建物でのサービス，蔵書という中身であり，それを実現するのは図書館職員です。本稿前段に書きましたことに加えて，これぞ北大図書館というカラーを出してほしいと願っています。

「ビブリオバトルin北海道大学附属図書館」の開催

北大ビブリオバトル実行委員会　代表
北海道大学公共政策大学院　修士２年
岡本　陽平

１月20日（金）の15時から16時にかけて，附属図書館本館3階ラウンジにて「ビブリオバトル in 北海道大学附属図書館」を開催しました。

ビブリオバトルとは，

①出場者が各自の紹介したい本を持ち寄り，その本を５分間でプレゼンテーションする。

②その後，本やプレゼンテーションの内容に関する２分～３分のディスカッションを行う。

③全出場者の発表後，観客および出場者の投票によって「チャンプ本（一番読みたくなった本）」を決定する。

というものであり，優れた本との出会いの場として，また，本を通した新しいコミュニケーションの手段として，近年全国的に注目を集めています。

実施の内容は次の通りです。

◆日　　時：平成24年1月20日（金）15:00から16:00
◆場　　所：北海道大学附属図書館本館　3階ラウンジ
◆来場者数：約50名（最終投票参加者／30名）
◆出場者数：5名
◆主　　催：北大ビブリオバトル実行委員会
◆協　　力：北海道大学附属図書館
　　：北海道大学ピア・サポート室



紹介された本（出場順に掲載）

①『論理パラドクス――論証力を磨く99問』（三浦俊彦著，二見書房，2002）
②『新・物理学入門〔増補改訂版〕』（山本義隆著，駿台文庫，2004）
③『小説　恋愛をめぐる24の省察』（Alain de Botton著，畔柳和代訳，白水社，1998）
④『恥知らずのパープルヘイズ――ジョジョの奇妙な冒険より――』
（上遠野浩平著，集英社，2011）
⑤『あなたの話はなぜ「通じない」のか』（山田ズーニー著，筑摩書房，2003）

【チャンプ本】『小説　恋愛をめぐる24の省察』（獲得票数／11票）

この企画は，学生団体である北大ビブリオバトル実行委員会（代表：岡本陽平／公共政策大学院修士 2 年）が主催した「学生発」の企画ということもあり，広報や出場者の募集には苦労しましたが，附属図書館やピア・サポート室をはじめ，多くの方の協力の下で，たくさんの方にお越しいただくことができ，非常に実りの多い企画になったと感じています。また出場者も，理系から文系，学部 1 年生から博士課程の学生まで多様性に富んでおり，様々な人が学ぶ北海道大学らしい大会となりました。

ビブリオバトルの優れたところは，本を通してそこに新しいコミュニケーションや出会いが生まれることだと私は考えています。本は言ってみれば知の宝庫であり，本を核に対話をするというのは，知の共有，知の循環と言えます。今回の大会でも，発表やディスカッション，企画の終了後などの時間に，発表者同士や発表者と観客，観客同士の間で様々なコミュニケーションがなされ，本との出会いだけでなく，人との出会いがそこに生まれていたように思います。

今回のビブリオバトルは実験的な取り組みとして行われたものですが，今後ビブリオバトルという装置が北海道大学の新しい文化として根付き，そこでなされる知の対話を通して，これまでにない全く新しい知が生まれてくることを，私は期待しています。



プレゼンテーションをする出場者


チャンプ本の投票

文献検索・文献収集法等の指導に関する アンケート調査について（報告）

情報リテラシー教育支援連絡会

利用支援課長	鈴木　宏子	（連絡会主査）
利用支援課 経済学部図書担当	横井　有紀	（連絡会文系分科会座長）
利用支援課 歯学部図書担当	坂本　ゆう子	（連絡会医系分科会座長）
利用支援課 理学部図書担当	梶原　茂寿	（連絡会理工系分科会座長）
利用支援課 情報リテラシー担当	堀越　邦恵	（連絡会庶務担当）

１．本アンケート調査の目的

附属図書館では，学生の情報リテラシー向上を目的として，図書館の使い方や蔵書検索・データベース検索方法の習得を支援する次の４つの活動を行っています。

- 図書館情報入門
  「全学教育」における「一般教育演習」の１コマを借りて，附属図書館の担当者が図書館の基本的な利用方法や蔵書検索・文献検索方法についての説明と演習を行うものです。平成13年度から毎年実施しています。平成23年度は48回実施し，延べ1,053名の新入生が受講しました。
- 文献探索ワークショップ
  教員の要望に応じて講習内容を設定する講習会です。平成23年度は16回開催し，417名が参加しました。
- ライブラリー・セミナー
  附属図書館主催で実施している，図書館の使い方，文献検索・文献収集法の講習会です。平成23年度は全９回を実施予定で，これまで６回実施し，27名が参加しました（平成24年２月29日現在）。
- 各種データベース講習会
  特定のデータベースの利用方法について，提供業者から講師を招いて実施している講習会です。平成23年度は26回開催し，213名が参加しました。

これまでの活動の結果，次の課題が浮かび上がりました。

附属図書館では，「図書館情報入門」により基本的な図書館の使い方についての周知はできていると考えていますが，学部学生が卒業研究を開始するころには，さらに踏み込んだ文献検索・文献収集の手段を利用する必要があります。こちらについても，何らかの形で／適切な時期に／体系的に指導・支援を行う必要があると思われますが，現時点では附属図書館で体系的な指導・支援を行うことができているとは言い難い状況です。

また，「ライブラリー・セミナー」や「各種データベース講習会」では参加者があまり集まらないことが多く，内容・方法共に見直しが必要となっています。

「文献探索ワークショップ」の場合は，毎年ほぼ同じ教員による申込のみとなってきており，このような活動を行っているということが教員全体に認知されていない懸念があります。

他方で，文献検索・文献収集法の指導に熱心な教員による，附属図書館が関与しない形での個別指導が行われているという話を耳にすることがあります。しかし，どこで／どのように／どういった内容のものが行われているのかを把握することができていませんでした。

各部局図書館・室において，自部局所属者を対象に独自の講習会を開催している例もありますが，内容や方法は部局図書館・室担当者に委ねられており，附属図書館として各分野のニーズをつかみ計画的に実施しているとは言えない状態です。

このような状況から，どこで何を実施すべきか／どのような支援を必要としていて，附属図書館に求められていることが何なのかを見直すべきとの認識に至りました。

見直しにあたって，まずは学内の各所で実施されている文献検索・文献収集法の指導についての現状を把握することが急務であると考え，本調査を実施することとしました。

さらに，調査の実施にあたって，この活動を行う各部局図書館・室担当者からなる「情報リテラシー教育支援連絡会」を通じて教員への依頼・分析を行うことで，各部局図書館・室の当事者意識を高め，調査後の連携の強化につなげたいと考えました。

２．アンケート結果について

調査対象・実施方法

調査対象は，全学の学部学生を持つ部局の教員としました。実施にあたっては，情報リテラシー教育支援連絡会の連絡員（各部局図書館・室担当者）から，メールまたは学内便でアンケート調査票を送付・返送する方法をとりました。

回答数及び回答率

全体で10.5%の回答率となりました。（表１）

表 1　調査対象数・回答数・回答率

分科会	学部名	調査対象	回答数	% （小数点第二位以下切り捨て）
文　系	文学研究科・文学部	109	16	14.7
	法学研究科・法学部	67	7	10.1
	経済学研究科・経済学部	49	8	16.7
	教育学院・教育学研究院・教育学部	42	5	12.5
医　系	医学研究科・医学部	149	32	19.8
	歯学研究科・歯学部	89	21	22.6
	獣医学研究科・獣医学部	48	2	4.0
理工系	水産科学院・水産科学研究院・水産学部	85	20	16.0
	理学院・理学研究院・理学部	199	6	2.7
	薬学研究院・薬学部	58	2	3.3
	農学院・農学研究院・農学部	132	8	5.6
	工学院・工学研究院・工学部	283	11	3.4
計		1,310	138	10.5

質問項目ごとの集計結果およびまとめ

※各項目の自由記述意見については，https://www.lib.hokudai.ac.jp/uploads/enq_freetext.pdfを参照

質問１　［学科　/　研究室］ に所属している学部学生に対して，データベースの使い方などの文献検索・文献収集についての指導を，［学科 / 研究室 / その他の単位］で 独自に行っていますか。（選択式・「その他の単位」については詳細を自由記述）

集計結果

図 1　全体（%表示）

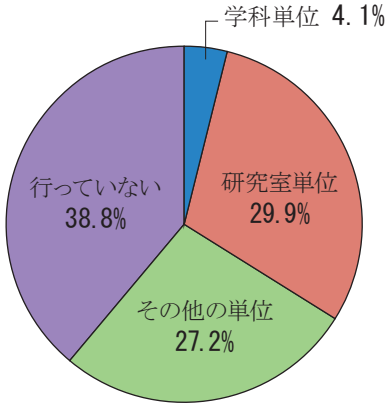


図 2　文系（%表示）

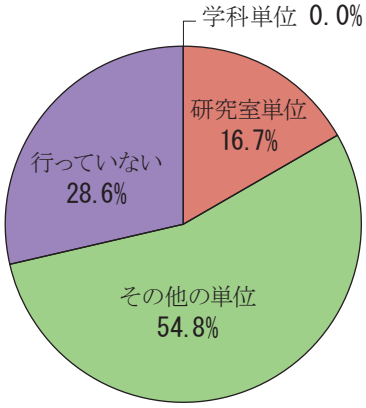


図 3　医系（%表示）

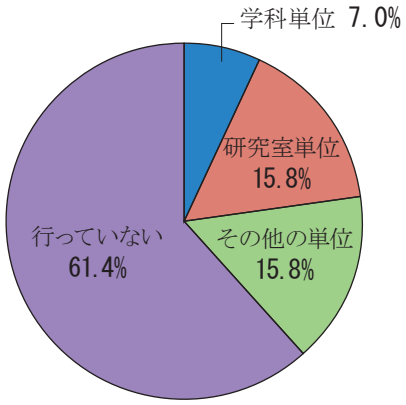


図 4　理工系（%表示）

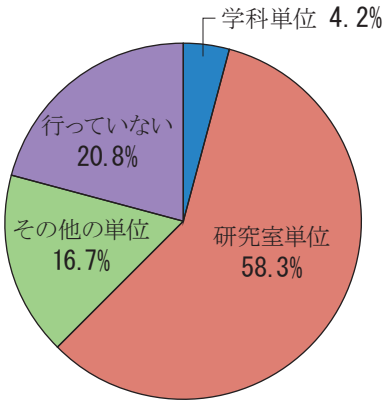


表２　質問１　回答数

		文系	医系	理工系	計
学科単位		0	4	2	6
研究室単位		7	9	28	44
その他の単位		23	9	8	40
行っていない		12	35	10	57
*参考	部局図書館・室で独自開催しているDB等講習会回数	2	7	4	
	文献探索ワークショップの申込数	10	3	2	

まとめ

学科単位，研究室単位，その他の単位を合計すると，全回答中 約61。2％で実施しています（図１）。主に研究室単位での指導となっており，「その他の単位」としては，授業（演習・実習等含む）で指導を行っているとの回答が大半を占めました。

文系は，「その他の単位」が最も多く，その内訳は「受け持ち授業」あるいはゼミ単位での指導が大半を占めています（図２）。

医系は，教員が行う指導については，半数以上「行っていない」という回答となりました（図３）が，医系分野において文献検索・文献収集法の習得は将来的に必要となるため，部局図書館・室において独自の講習会を開催しています（表２）。これらも含めると，医系の学生に対しての指導は何らかの形である程度実施されていると考えられます。

理工系は，何らかの指導を行っているという回答が半数以上ありました。また，学科などの大きな単位での指導はあまり行われておらず，研究室単位での指導が多くなっています。（図４）

質問２　実施している指導内容について，その時期，指導者，指導の対象，指導内容（特定のDB等についてであればその名称）を，例を参考にして下の表に記入してください。

	時期（いつ）	指導者（誰が）	対象者（誰に）	内容（何を）
例	4月頃	所属研究室のTA	学部X年生	～～の使い方

（各項目自由記述）

集計結果

図５　時期

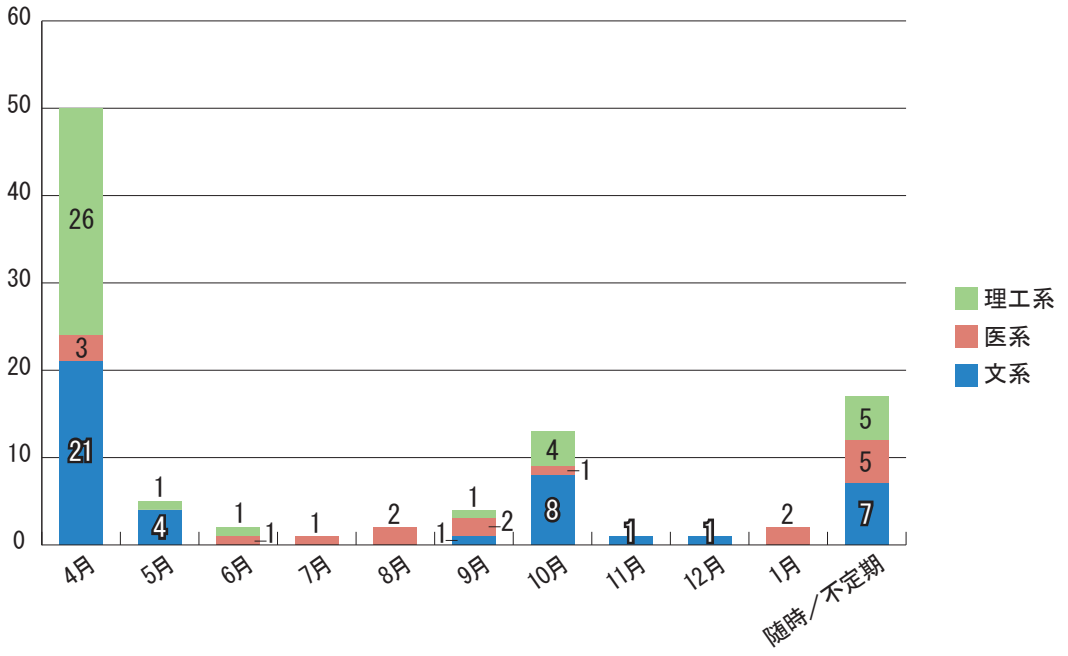


図６　指導者

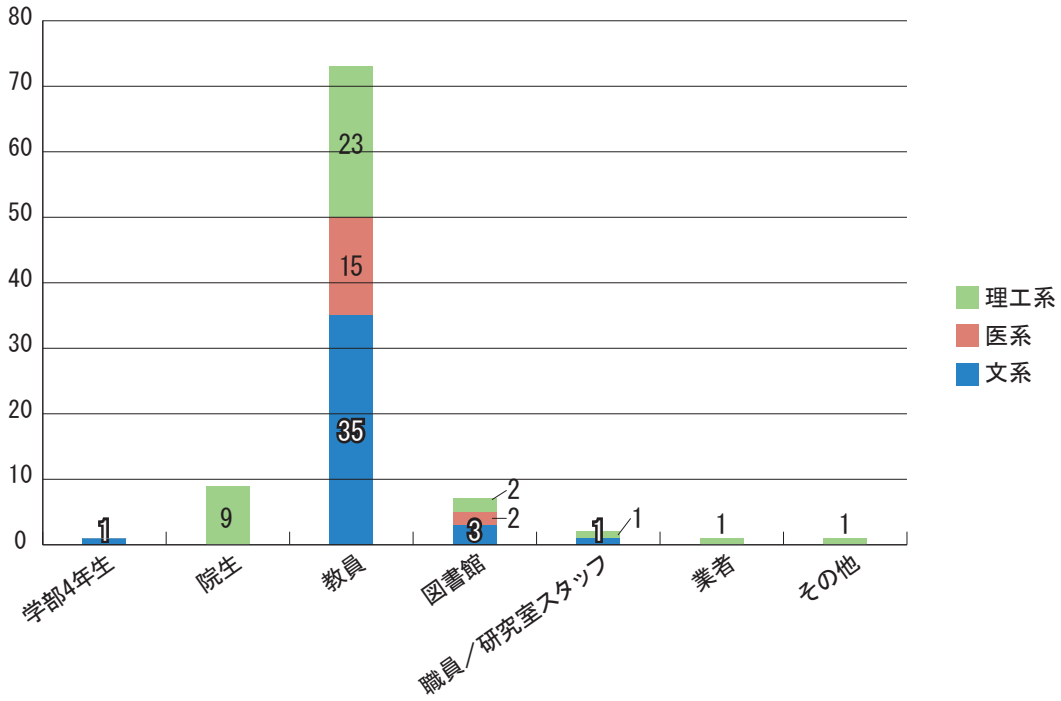

80
70
60
50
40
30
20
10
0
1
9
23
15
35
3
2
2
1
1
1
1
学部4年生
院生
教員
図書館
職員／研究室スタッフ
業者
その他
理工系
医系
文系

図７　対象者

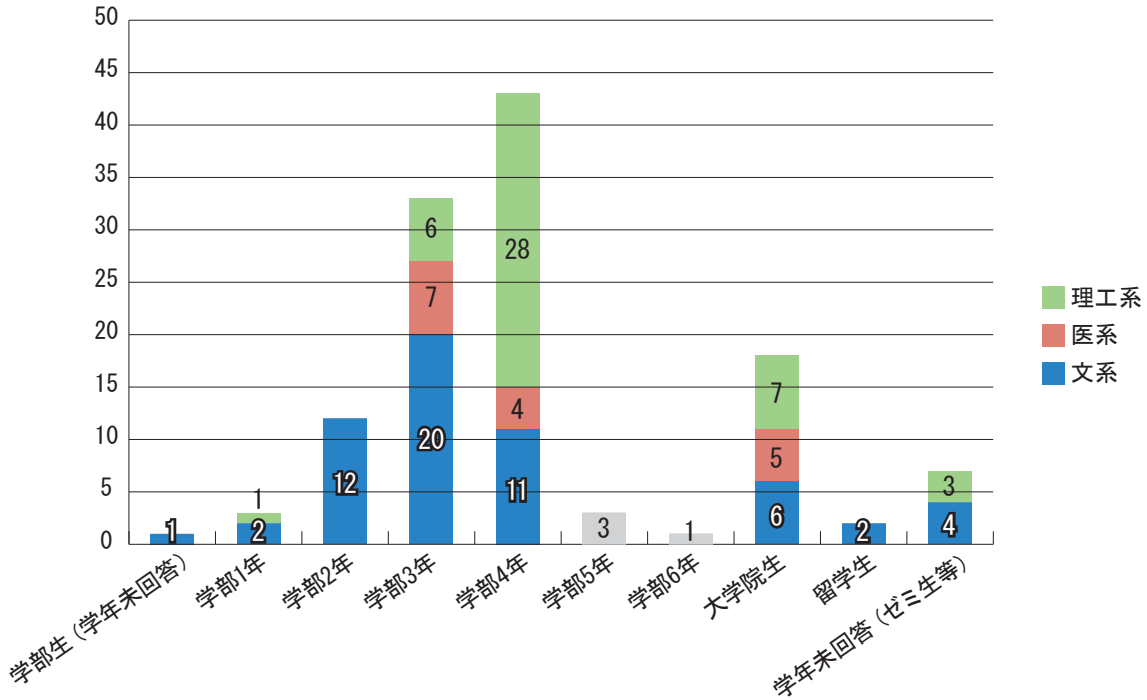

50
45
40
35
30
25
20
15
10
5
0
1
2
1
12
6
7
20
28
4
11
3
1
7
5
6
2
3
4
学部生（学年未回答）
学部1年
学部2年
学部3年
学部4年
学部5年
学部6年
大学院生
留学生
学年未回答（ゼミ生等）
理工系
医系
文系

図８　内容：全回答中，合計4回以上実施されているテーマ・DB等

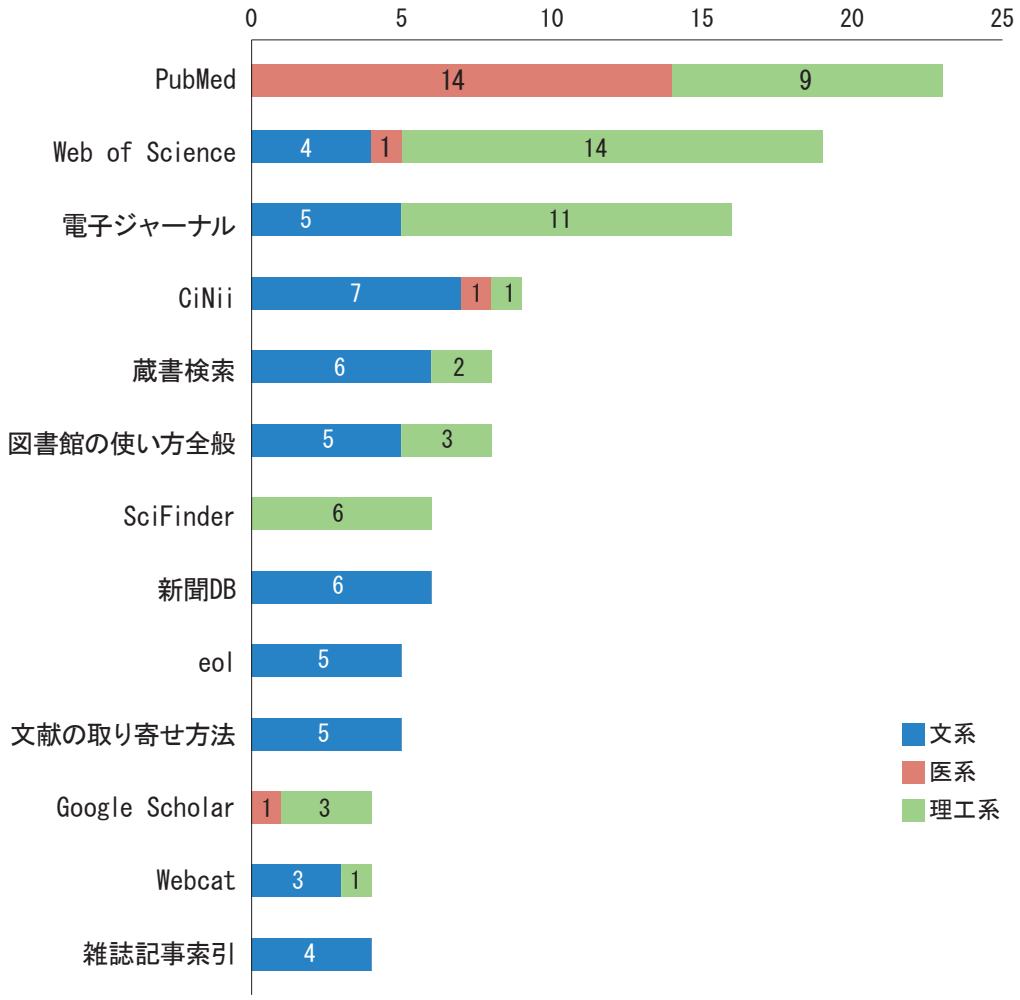


表３　系別 開催テーマ回数 1～10位

文系			医系			理工系		
順位		回数	順位		回数	順位		回数
1	CiNii	7	1	PubMed	14	1	Web of Science	14
2	蔵書検索	6	2	医中誌Web	2	2	電子ジャーナル	11
	新聞DB	6	3	CiNii	1	3	PubMed	9
4	電子ジャーナル	5		Dynamed	1	4	SciFinder	6
	図書館の使い方全般	5		GenBank	1	5	Google Scholar	3
	eol	5		Google Scholar	1		図書館の使い方全般	3
	文献の取り寄せ方法	5		JDreamII	1	7	蔵書検索	2
8	Web of Science	4		UptoDate	1		ASFA	2
	雑誌記事索引	4		Web of Science	1		Google	2
10	Webcat	3		メディカルオンライン	1		Reaxys	2
	MEDLINE	3						
	PsychInfo	3						

表４　特定DB以外の自由記述回答件数

文系	26
医系	2
理工系	7

まとめ

時期は，年度初めの４月が圧倒的に多く，後期授業開始時期の10月が次に続いています。授業等の指導内容に合わせて実施されていることがうかがわれる結果となりました。また，「随時」や「必要に応じて」の指導も見受けられます。（図５）

「随時」や「必要に応じて」の指導対象が「学部４年生」「学部５－６年生」「大学院生」となっていることから，卒業研究等の進捗により，個別に指導を行っているものと推測されます。

医系は，開催時期は年度初めの４月か後期授業開始時期の10月に部局図書館・室で独自にデータベースの使い方等の講習会を開催しています（表２）。学部３・４年生が病棟実習に来る毎に指導しているとの回答もありました。

指導は教員自身が行う場合がほとんどです。理工系では大学院生による指導も行われています。（図６）

指導対象は，全体では学部４年生と学部３年生への指導が多くなっています。（図７）

文系は，全学教育部から学部へ移行してくる学部２年生と，本格的にゼミ（演習）へ参加する学部３年生への指導が主で，留学生を対象に据えている教員もいます。留学生は日本語能力が十分でない場合もあり，附属図書館で実施するような講習会では必要な情報を満足に得難いと考えられ，教員が独自で指導していると思われます。

本調査の設問は「『学部学生』を対象とした指導について」であったにもかかわらず，大学院生への指導についての回答が一定数集まりました。教員の側からみると，文献検索法の指導に関しては，学部学生・大学院生の別を問わず，必要な時に必要なことを指導することが重要との認識が反映されたものかと思われます。

指導内容は分野別の特定DB等の使い方の指導が多くなっています（図８）。自由記述には「ネットからどのような情報を引き出せるのかという点について」「著者・出版社の取捨選択法」などの情報検索に関する基本概念の指導を行っている例も見受けられました。

文系は，特定のDBの利用方法や他の系でよくみられるテーマ以外の自由記述回答が多く見られました（表４）。実際に書物・原資料に触れることを重要視し，原資料へのアクセス方法や取り扱い方を重点的に指導している，という回答もありました。

医系ではPubMedの使い方が圧倒的に多く，それ以外の指導については１－２回程度の実施となっています。理工系では電子ジャーナルの利用方法やWeb of Science，PubMedなどの基本的なデータベースの利用方法についての指導が多く挙がっています。（図８，表３）

質問３　附属図書館では，1年生を対象にした「図書館情報入門」，一般向け講習会「ライブラリー・セミナー」，申込内容に応じて内容をカスタマイズした講習会「文献探索ワークショップ」，「各種データベース講習会」を随時実施しています。

（参照：http://www.lib.hokudai.ac.jp/modules/tinyd3/index.php?id=8）

これらについてご存知ですか。（選択式）

集計結果

図 9　質問 3 集計（%表示）

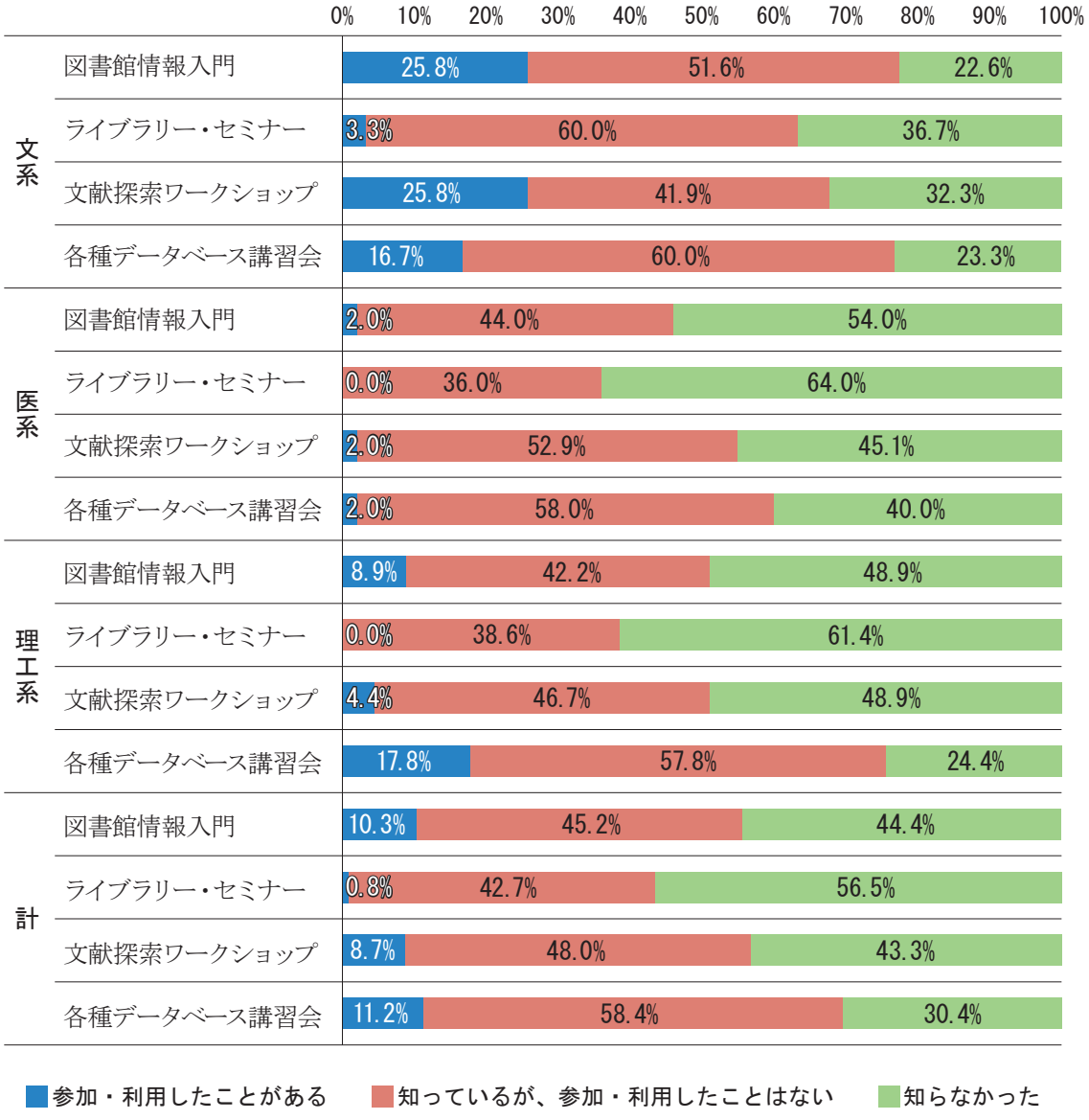


表５　質問３ 回答数

		文系	医系	理工系	計
図書館情報入門	参加・利用したことがある	8	1	4	13
	知っているが，参加・利用したことはない	16	22	19	57
	知らなかった	7	27	22	56
ライブラリー・セミナー	参加・利用したことがある	1	0	0	1
	知っているが，参加・利用したことはない	18	18	17	53
	知らなかった	11	32	27	70
文献探索ワークショップ	参加・利用したことがある	8	1	2	11
	知っているが，参加・利用したことはない	13	27	21	61
	知らなかった	10	23	22	55
各種データベース講習会	参加・利用したことがある	5	1	8	14
	知っているが，参加・利用したことはない	18	29	26	73
	知らなかった	7	20	11	38

まとめ

全体的に，どの講習会の認知度も低い結果となりました（図 9，表 5 ）。講習会等の開催時には，ポスターや附属図書館ホームページで周知していますが，十分に伝わっていない現状が明らかになりました。

また，知っていても参加・利用したことがない割合も高くなっています。「ライブラリー・セミナー」や「各種データベース講習会」では，主にデータベースの基本的な利用方法に重点を置いて開催していますが，近年のデータベースは直感的に利用できるよう工夫されており，わざわざ時間を割いて講習会に参加しようとは考えないのかもしれません。

医系は，文系や理工系と比較して参加・利用が非常に少なくなっています。日中診療を行っている教員も多く，附属図書館本館と距離があるため，知っていたとしても参加・利用まで至らないのではないかと考えられます。

質問４　質問２でご回答いただいた指導のほかに，今後の学生の文献検索・文献収集について指導をより充実させる計画やアイディアがございましたら，ご教示ください。また，図書館へのご意見やアドバイスがあればお願いいたします。（自由記述）

集計結果

表６　質問４ 主な回答の種類

	件数
指導内容について	15
教材に関して	9
指導機会・開催時期について	9
学生の動向	4
その他	9

まとめ

指導内容についての意見が最も多く15件。教材に関して 9 件，指導機会・開催時期について 9 件，学生の動向が 4 件，その他 9 件のご意見をいただきました。その中で，すでに図書館の講習会を利用されている方からの高い評価もいただいたことは大変うれしいことでした。一方，有効性を認めながらも学生の反応が悪いことについてもご指摘があり，開催時期や開催方法，遊び心などの努力と工夫が必要とのアドバイスもいただきました。また，検索方法よりも，文献を必要とする動機づけやキーワードの選択，インターネット上の情報の見極め方，電子書籍の知識や大学図書館以外の機関で文献を収集する方法などが必要との意見もありました。教材として，動画チュートリアルや文献検索ポータルサイト，冊子やオンラインのマニュアル等のガイドへの要望も見られました。この調査について，教員へのフィードバックを希望する意見もありました。

３．総括

アンケートの回答率は教員全体の10%でしたが，教員の方々のご意見を直接聞くことができた点では，有意義なものでした。学部 3,4 年生を対象とした指導が各分野で行われていること，従来の図書館やデータベースの使い方だけではなくさまざまな指導が行われており，そこにニーズがあることも明らかになりました。

アンケート調査票の回収にあたって，文献検索・文献収集法の指導についてより詳しい話を伺うために，任意に連絡先を記入していただきました。連絡先を記入くださった教員の数は96名。これからの活動としては，これらの教員を個別に訪問し，附属図書館が取るべき文献検索・文献収集法の指導・支援方法のより具体的な内容を検討するとともに，教員との連携を深めることで，より効果的な活動となるよう努力したいと考えています。

最後に，お忙しい中このアンケート調査にご協力いただいた全ての方々にお礼を申し上げます。

自由記述意見一覧（質問1，2，4）　https://www.lib.hokudai.ac.jp/uploads/enq_freetext.pdf
アンケート調査票見本　https://www.lib.hokudai.ac.jp/uploads/enq_sheet.pdf
参考：平成23年度 講習会等実施回数　https://www.lib.hokudai.ac.jp/uploads/H23_koshukai.pdf

お知らせ

来館日誌

（平成23年11月～平成24年2月）

No.	来館者	来館日	時間	人数	備考
1	リコージャパン（株） 通山正年氏他	11月 1 日（火）	14:30-15:00	3	図書館見学
2	国立情報学研究所学術基盤推進部 図書館連携協力室（JUSTICE事務局） 守屋文葉氏	11月 2 日（水）	14:30-15:30	1	図書館見学
3	大阪大学附属図書館 上原恵美企画課課長補佐他	11月 4 日（金）	14:00-15:00	3	図書館見学
4	立教大学図書館 小圷守利用支援課長他	11月15日（火）	10:00-12:00	2	図書館見学
5	旭川医科大学 浅野いずみ課長補佐	11月18日（金）	10:30-11:30	1	図書館見学
6	和歌山大学 池際博行館長他	12月 8 日（木）	14:30-16:30	3	図書館見学
7	カンボジア工科大学 オム・ロムニー学長他	1 月12日（木）	9:55-10:25	9	図書館見学
8	文部科学省高等教育局 国立大学法人支援課 鎌塚聡課長補佐他	1 月12日（木）	16:00-16:35	2	学内視察
9	天塩高校	1 月25日（水）	14:00-14:30	12	図書館見学
10	京都大学附属図書館 栃谷泰文事務部長	2 月10日（金）	15:00-17:00	1	図書館見学
11	茨城大学学術企画部学術情報課 室橋眞課長他	2 月17日（金）	8:45-9:45	2	図書館見学
12	一橋大学附属図書館 江夏由樹館長他	2 月23日（木）	14:30-17:00	3	図書館見学
13	石狩・後志公共図書館司書会	2 月27日（月）	14:00-15:00	7	図書館見学
	計			49	

学生ICカード・職員ICカードに図書館サービス対応

1月16日（月）から「学生ICカード」と「職員ICカード」で図書館サービスが利用できるようになりました。これまで教職員の方が図書館を利用する場合は別途申請手続きが必要でしたが，「職員ICカード」を持っている方については，申請手続きを行わなくても図書館を利用できるようになりました。図書館を利用したことがない教職員の皆様も「職員ICカード」をお持ちになって，どうぞ図書館にお越しください。





設置された
ICカードリーダー

入館ゲート





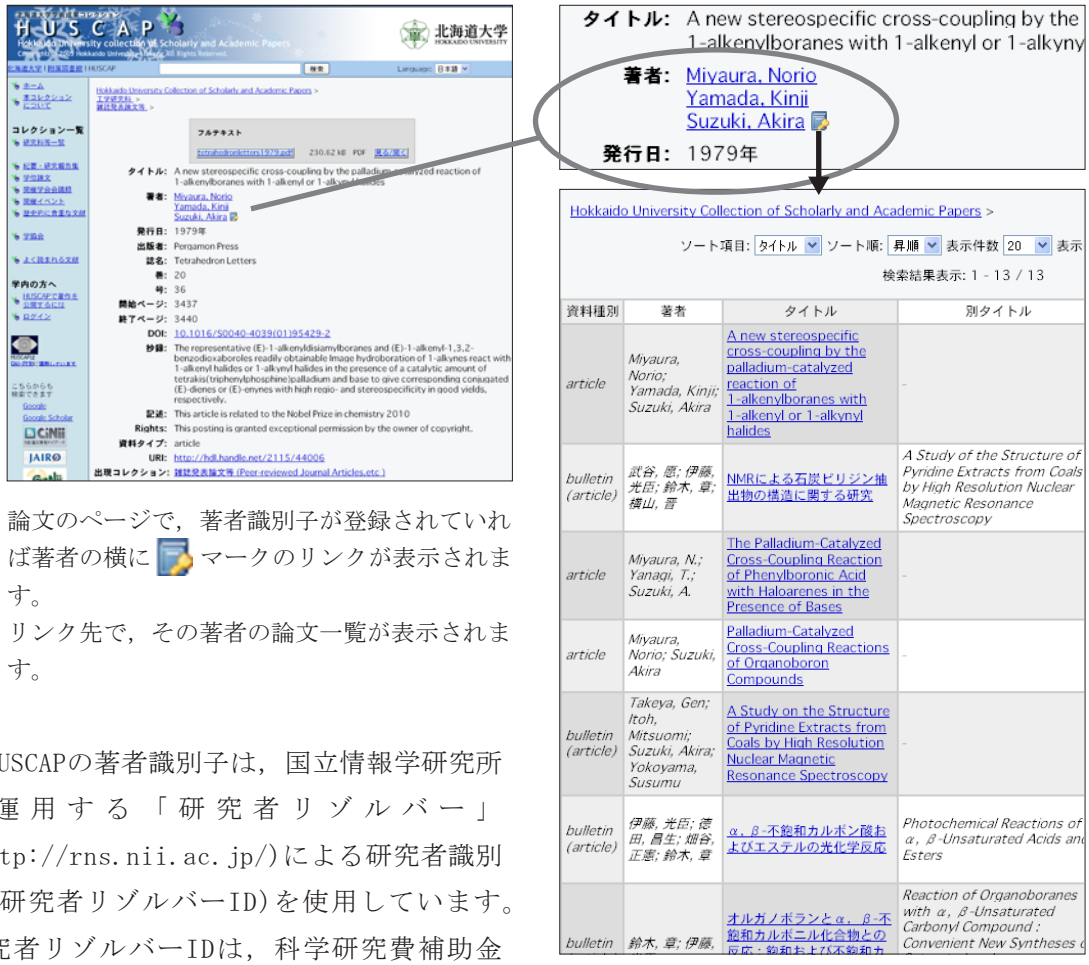
設置された
ICカードリーダー

自動貸出機

（利用支援課）

HUSCAPに新機能「著者識別子」がつきました

２月から「北海道大学学術成果コレクション（HUSCAP）」に著者識別子（典拠）機能を追加しました。著者識別子とは，学術文献の著者を一意に特定するためのIDです。著者識別子を導入したことにより，名前の曖昧さによる問題，例えばローマ字・漢字などの表記ゆれ，同姓同名，旧姓，漢字異体字などを気にすることなく，その人の著作を一覧することができるようになりました。



論文のページで，著者識別子が登録されていれば著者の横に マークのリンクが表示されます。
リンク先で，その著者の論文一覧が表示されます。

HUSCAPの著者識別子は，国立情報学研究所の運用する「研究者リゾルバー」(http://rns.nii.ac.jp/)による研究者識別子(研究者リゾルバーID)を使用しています。研究者リゾルバーIDは，科学研究費補助金（科研費）とReaD&Researchmapの研究者番号を元にしています。

HUSCAPに登録された論文と著者識別子のデータは「学術機関リポジトリポータル （JAIRO） 」へ渡され，JAIRO内でも著者識別子として活用されます。このような著者識別子は今後，全国の機関リポジトリでも採用され，研究者リゾルバーやJAIROで活用されることが期待されています。

HUSCAPでは，平成22年12月までにHUSCAP登録された論文について，4,988件（論文4,164本，著者855人）の著者識別子を入力済みで，今後も登録を検討しています。

（学術システム課）

国立女性教育会館所蔵図書の貸出サービス継続中

北図書館で，昨年から実施している国立女性教育会館・女性教育情報センターのパッケージ貸出サービスは，好評のため，本年も継続して行っています。

昨年同様，本を入れ替えながら実施します。

実施期間（平成24年第１回）：平成24年１月17日（火）～４月27日（金）
配架場所：北図書館２階カウンター前
貸出期間：15日間
貸出冊数：２冊（北図書館の貸出冊数とは別枠になります。）

※　図書入替えのため閲覧のみの利用となる期間があります。詳細は館内の掲示やホームページでお知らせします。

また，昨年は，次の表のとおり，多くの方の利用がありました。

本学の学生・大学院生や教職員，附属図書館利用証をお持ちの方はどなたでも借りることができます。どうぞご利用ください。

表１．貸出冊数

	貸出期間	学部学生等	大学院生等	教職員等	学外利用者	合　計
第 1 期	1/17-4/11	60	35	26	16	137
第 2 期	5/2-8/15	131	36	8	28	203
第 3 期	9/1-12/12	73	26	12	8	119
	合　計	264	97	46	52	459

表２．貸出人数

	貸出期間	学部学生等	大学院生等	教職員等	学外利用者	合　計
第 1 期	1/17-4/11	38	16	15	10	79
第 2 期	5/2-8/15	69	14	5	8	96
第 3 期	9/1-12/12	36	13	7	6	62
	合　計	143	43	27	24	237

※各期とも200冊所蔵

※「学部学生等」には聴講生を含む。「大学院生等」には研究生を含む。

（北図書館）

「初任図書館職員研修」を開催しました

附属図書館では，11月14日（月）から18日（金）の５日間にわたり「平成23年度北海道大学初任図書館職員研修」を開催し，平成22年度及び平成23年度に新規採用された図書館職員６名が受講しました。

この研修は，本学図書館職員として必要な業務の基礎知識を身につけることを目的とし，期間中毎日１時間半～２時間半，２講義から３講義が行われました。最初に，杉田福夫管理課長から新棟建設や既存棟の改修など現在進められている図書館再生事業の概要及び事業計画についての説明があり，次いで附属図書館本館内の９つの業務について各担当の係長等から，ルーチンワーク，今年度の事業計画と取り組み事項，課題などに関する講義が行われました。また，研修の中日には藏野由美子事務部長による講話があり，最終日には部課長との懇談会がありました。

懇談会は質疑形式で行われ，強く関心を持った業務とその理由，担当業務における自らの課題と目標など随所に新鮮な意見も多く出され，和やかな雰囲気の中にも熱心さと真剣さが伝わるものとなりました。最後に受講者は，自分の担当業務が他の係の業務とどのように関係しているか図書館全体を把握できたことが大きな収穫であり，今後における新たな取り組みや業務改善に生かしていきたいと抱負を述べていました。



講義を聞く受講生



懇談会の様子



講師と記念撮影

（管理課）

「出向者連絡会」を開催しました

附属図書館では，１ 月27日（金），附属図書館第一会議室において出向者連絡会を開催し，道内国立大学等へ出向中の本学図書系事務職員４名が参加しました。

この連絡会は，出向者に対し，出向期間中の北海道大学，及び附属図書館の状況について説明するとともに，出向者の近況確認を行うことを目的として毎年実施しています。

最初に，鈴木宏子利用支援課長の案内により，再生事業を進め大きく変貌しつつある附属図書館本館を見学し，昨年７月にオープンした新棟，改修済みの既存棟及び自動化書庫の運用状況について説明を受けました。次いで藏野由美子事務部長，杉田福夫管理課長，山本和雄学術システム課長，鈴木利用支援課長が附属図書館本館，北図書館及び各部局図書室における今年度の事業内容や新たな試みについて説明を行い，最後に，藏野事務部長，杉田管理課長が出向者との個人面談を行いました。

附属図書館等の状況説明の際には質疑応答も行われ，事業計画等に関し出向者から熱心な質問を受けました。参加した出向者は附属図書館，各部局図書室の最新の状況について知識を得たほか，同僚との久しぶりの再会により旧交を温めるなど，有意義な会となりました。



鈴木利用支援課長の案内により，
図書館内を見学する出向者



自動化書庫説明の様子



説明を聞く出向者

（管理課）

学術成果コレクション（HUSCAP）収録文献

（平成23年11月 1 日～平成24年 1 月31日）

新たに，267名の研究者の方々からご提供いただいた507件の文献を公開しました。
また，14研究科等の25タイトルの紀要（文献378件）も公開しました。
HUSCAPについて詳しくは，下記ＵＲＬをご覧ください。
http://eprints.lib.hokudai.ac.jp/

附属図書館では，本学の研究者が執筆した論文や学会発表資料等の文献を収集し，HUSCAPにて保存・公開しています。
新たに論文等を発表された際には，repo@lib.hokudai.ac.jpへファイルをお送りください。
ご協力よろしくお願いいたします。

教員著作寄贈図書

（平成23年11月 1 日～平成24年 1 月31日）

寄贈者（敬称略）	所属部局	寄贈図書	所在
谷口　博	名誉教授	例題で学ぶ品質管理 / 谷口博, 佐々木克彦, 早坂洋史, 小原伸哉, 谷口正行 共著. - 東京 : 森北出版, 2012. 1	本館･開架･教員著作
瀬名波栄潤	文学研究科	アーネスト・ヘミングウェイ:21世紀から読む作家の地平 / 日本ヘミングウェイ協会編. - 京都 : 臨川書店 , 2011. 12	本館･開架･教員著作
山口　二郎	法学研究科	政権交代とは何だったのか / 山口二郎著. - 東京 : 岩波書店 , 2012. 1. -（岩波新書 ; 新赤版 1347）	本館･開架･教員著作
越澤　明	工学研究院	伪满洲国首都规划 / 越泽明著 ; 欧硕译. - 北京 : 社会科学文献出版社 , 2011. 8. -（阅读日本书系）	本館･開架･教員著作
神保　秀一	理学研究院	位相空間 / 神保秀一, 本多尚文共著. - 東京 : 数学書房, 2011. 4. -（テキスト理系の数学 / 泉屋周一［ほか］編 ; 6）	本館･開架･教員著作
斎藤　秀之	農学研究院	北海道の森林 / 北方森林学会編著. - 札幌 : 北海道新聞社, 2011. 11	本館･開架･教員著作 北図書館･一般図書
鈴木　敏正	教育学研究院	持続可能で包容的な社会のために : 3. 11後社会の「地域をつくる学び」/ 鈴木敏正著. - 東京 : 北樹出版 , 2012. 2. -（叢書地域をつくる学び ; 16）	本館･開架･教員著作

ご恵贈誠にありがとうございました。
図書館では本学教員が執筆した図書を収集しています。新たに本を出版される際には，是非ご恵贈くださるようご協力お願いいたします。また，北京大学図書館との相互交流および協力に関する覚書の締結に基づき，北京大学との交換用にもう１冊分，ご寄贈くださいますようご協力をお願いいたします。とりまとめは，附属図書館で行います。

楡　　蔭(北大図書館報)

平成23年度特別図書購入費による購入資料

特別図書購入費は，人文社会科学系の大学院における教育研究に必要な基本的図書資料を整備充実することを目的とした経費です。文学・法学・経済学各研究科，教育学院，国際広報メディア・観光学院，公共政策大学院に資料の選定をお願いした結果，今年度の購入資料が決定しましたのでお知らせします。ご協力まことにありがとうございました。これらの資料は，納品され，整理が済み次第，順次，本館の書庫等に配置します。

（洋書）

● Beauty of maps = **美しき古地図の世界**. -- **日本語字幕版** ; - **丸善**, 2010-2011.

イギリスの歴史とともに，古地図の魅力と当時の世界観を紹介する映像資料。英国図書館に所蔵されている14世紀から現代までの地図450万枚の中から，地図の専門家や歴史学者，芸術家がセレクトした貴重な古地図を収録。DVD4枚組。

● Bürgerliches Gesetzbuch Gesamtausgabe / herausgegeben von Barbara Dauner-Lieb, Thomas Heidel, Gerhard Ring. ; 5 vols. -- 3. Aufl. -- Nomos,2008-2010.
（ドイツ民法実務コメンタール / ダウナー＝リープ教授他編）

ドイツ民法の注釈書の中でも，特に実務的な側面を重視するNomos社版コメンタール。学問的内容と実務的な内容をバランスよく収録。法の形成に正しい方向性を示すために，判例の提示と法学上の意見に重点が置かれているほか，様々な法的意見や法学文献の展開が提示・分析されており，読者が包括的な視点を得られる構成。編集及び執筆陣には著名な法学者，公証人，実務家，司法行政関係者から気鋭の若手までが参加。全５巻。

● Critical concepts in law ; International law / edited by Joseph Weiler and Alan T. Nissel ; 6 vols. - London : Routledge , 2011.（**国際法，法の重要概念 / J.ワイラー編**）

国際法学界において出版が待望されていた，国際法に関する最新かつ重要な研究を収録した論文集。国際法の各分野において優れた業績を上げている研究者を執筆陣とする，国際法の研究・教育において必須の文献。全６巻。

● Der Österreichische Volkswirt : Zeitschrift für Industrie und Finanzwesen. - Jahrg. 1 (1908/1909) - Jahrg. 10 (1917/18).（**オーストリアン・エコノミスト誌**）

第一次大戦前期～第二次大戦期のオーストリアを代表する経済学・社会学・政治学に関する学術雑誌。第二次大戦後に，経済学界のみならず，政治・社会思想の分野で世界的な影響力を発揮したシュンペーター，ハイエク，ポラニー，ドラッカーなどが執筆し，かつ編集に関わった。経済学，政治・社会思想，当時の世界情勢に関する経済・政治分析など，社会科学の多分野を網羅する論文を多数掲載。

● The common law library ; Chitty on contracts ; 2 vols. - 30th ed. - London : Sweet & Maxwell , 2008.（英国契約法体系 第30版）

英国はもとより英連邦諸国の契約紛争においても頻繁に引用され，現在この分野における最も優れた文献と評価されており，イギリスの民商法の研究には欠かせない，最も権威ある体系的解説書。英国で最近頻繁に行われている法制定や法改正に対応した最新版。全２巻。

● Geschichte der bildenden Kunst in Deutschland. ; 8 vols. - München : Prestel, 2006-2009（ドイツ造形芸術史）

美術，歴史宗教，社会史的な内容も含んだカロリング朝から現代までのドイツの歴史を理解する上で重要な叢書。現在の一線の研究者100人以上により執筆された信頼のおける記述と，数千点におよぶ美しく精巧な図版を収録。全８巻。

● Die Geschichtschreiber der deutschen Vorzeit ; 2. Gesamtausg., Bd. 1 - 3. Gesamtausg., Bd. 104. -- Schmidt Periodicals,2010-. Bd. 75, 79/80 - 81/82 ,84 - 87, 90, 93/94 ,95, 99, 104.（ドイツ前近代の歴史叙述家たち）

中世ドイツ史に関する史料であるモヌメンタ・ゲルマニアエ・ヒストリカの中から，ラテン語の叙述史料を中心に選定して，ラテン語の原文をドイツ語訳した叢書。今年度は同叢書の中から，中世後期（13-15世紀）の叙述史料を選定。いずれも他の同種のラテン語史料ドイツ語訳シリーズではカバーされていない唯一の翻訳で，中世後期ドイツの帝国史，領邦史，教会史，法史等を研究する上での基本史料。

● Glanzlichter der Buchkunst. ; Bd.1-20. - Graz : Akademische Druck- u. Verlagsanstalt, 1991-2011.（写本復刻シリーズ「書物芸術の輝き」）

中世ヨーロッパの傑出した歴史的な写本の縮小復刻版。「ゴスラーの福音書」等の重要福音書やヨーロッパ最古の狩猟書である「鷹狩論」のほか，医学書，薬学書，法律書，歴史書等の貴重な写本全20点を収録。

● International handbook of education for the changing world of work : bridging academic and vocational learning / Rupert Maclean, David Wilson, editors ; Chris Chinien, associate editor. - : Springer , c2009.（職業訓練国際ハンドブック）

技術・職業教育のこれまでの変化，発展と今後の方向について，理論と各国の事例を幅広く紹介，検討した論文からなるハンドブック。1980年代以降の経済のグローバル化等の進行に対応して求められてきた職業教育訓練の改革がどのように行われ，どんな新たなモデルが生み出されたのか，また職業教育訓練に関する理論はいかに発展してきたのかに関する世界の200名を超える研究者によるレビュー，分析を収録。

● Internationales Erbrecht / begründet von Murad Ferid, Karl Firsching ; herausgegeben von Heinrich Dörner, Rainer Hausmann. - München : C.H. Beck , 2011.（国際相続法）

相続に関する主要諸国の実質法および抵触法の解説書。実質法および抵触法体系を主要国ごとにコンパクトに解説。

● Japanese religions / edited by Lucia Dolce ; 4 vols. -- SAGE,2011. (**日本の宗教**)

日本の宗教に関する重要研究を精選収録した論文集。社会・歴史・文化的背景を踏まえつつ，日本の宗教的経験を分析した論文を精選して収録。過去から現代における日本人の宗教体験の多様性と複雑性について解説し，同時にこの分野における最新研究の概観を提示。全4巻。

● Kommentar zum Bürgerlichen Gesetzbuch / herausgegeben von Heinz Georg Bamberger, Herbert Roth. - 3. Aufl. - : C.H. Beck , 2011. (**民法典注釈　第3版**)

従来は十分には取り上げられていなかった多くの法的問題を詳細に解説する新しいコメンタール。ドイツ民法の全分野を含む内容。2007年の第2版以降に行われた相続法の大改正等に対応して2011年に刊行された最新の第3版。執筆者には，大学に籍を置く研究者のみならず，裁判官をはじめとする実務家も含まれる。

● United Nations Convention on the Law of the Sea, 1982 : a commentary / Myron H. Nordquist, editor-in-chief ; : v. 7. - Dordrecht ; Boston : M. Nijhoff , 2011. (**M.ノルドクイスト編「1982年海洋法に関する国際連合条約 : 注釈」第7巻**)

第3回国連海洋法会議で構想された国連海洋法条約（UNCLOS III, 1973-1982）の公式および非公式文書について，会議に実際に参加した主要な国連加盟国や交渉担当者により執筆された逐条注釈書 7巻セットの最終巻。1～6巻は昨年度までに購入済。

● The Vienna Conventions on the Law of Treaties : a commentary / edited by Olivier Corten, Pierre Klein. - : Oxford University Press , 2011. (**条約法に関するウィーン条約 : 注釈**)

1969年に採択された「条約法に関するウィーン条約」（ウィーン条約法条約）及び1986年に採択された「国際機関の締結する条約に係る条約法に関するウィーン条約」（ウィーン国際機関条約法条約）という，条約法に関する主要な二つの多数国間条約についての注釈書。国際法の権威であるブリュッセル自由大学国際法研究所のコルテン及びオリビエ両教授をはじめとする世界20か国の専門家90人以上が執筆者として参加し，各条項の詳細な分析・注釈を提供。

（和書）

● **大阪朝日. 外地版 ; 1943(昭和18年)-1944(昭和19年). - 復刻版. - 東京 : ゆまに書房.**

朝日新聞社が，台湾，朝鮮，満州国などの読者を主な対象として刊行した「（大阪）朝日新聞」の「外地版」の復刻版。「外地版」が刊行された1935～45年のほぼ全期間を収録。1935～1942年は昨年度までに購入済。

● **沖縄教育 / 沖繩教育會，沖繩縣教育會編. ; 第19巻-第30巻. - 復刻版. - 東京 : 不二出版，2009-2011.**

1906（明治39）年～1944（昭和19）年に沖縄県教育会（時期によっては沖縄教育会）が発行した機関誌の復刻版。文部省および沖縄県の教育政策の担当者たちの講演記録，沖縄における小学校教員の授業記録，近代沖縄・日本の教育政策およびその実態等に関する記事等を掲載。1～18巻は昨年度までに購入済。

● **映画検閲時報 / 内務省警保局. - 複製版. - 第16巻-第25巻. - 東京 : 不二出版**

戦前，国家権力による思想統制の一環として行われた活動写真・映画に関する検閲の実態を網羅した，日本映画史研究の基礎資料。戦前期の映画作品のリストに基づき，その原初の姿と公開事情を明らかにする。第１～15巻は文学部所蔵。

● **近代中国都市案内集成 / 孫安石監修・解説. - 東京 : ゆまに書房 , 2011.**

1910～40年代の上海に渡った日本人に向けて現地情報を提供するために刊行された案内記・生活指南書等の代表的なものを選び，全12巻にまとめて復刻したシリーズ。国際観光局（JTBの前身）が上海事変の戦跡巡礼ツアーを紹介したガイドや東洋観光会議（1935）など，戦争と国際観光をめぐる文献等も収録。

● **西洋古典叢書. -- 京都 : 京都大学学術出版会,1997-2011.**

西洋古典-哲学，歴史，文学にわたるギリシア・ラテンのありとあらゆる作品群の悉皆翻訳によって，西洋の知と教養の基底の巨大な全容を提供する叢書。訳者は，それぞれの文献を専門とする本邦の第一人者が担当。本邦初訳の貴重な翻訳を多数収録。今年度は未所蔵の既刊分74冊を購入。

● **戦前期仏教社会事業資料集成. - 編集復刻版. - : 不二出版 , 2011-.**

戦前期に仏教各宗派が刊行した主要な刊行物を編集，整理し，戦前期の仏教社会事業の軌跡を追った復刻版。宗教学，日本史学，社会学等，様々な分野における戦前期日本研究の基礎資料。

会議（平成23年11月１日～平成24年２月29日）

【学　内】

◎学術研究コンテンツ小委員会

○平成23年度第４回〈11月22日（火）〉（持ち回り）

○平成23年度第５回〈２月２日（木）〉

◎図書選定小委員会

○平成23年度第３回〈11月16日（水）〉

○平成23年度第４回〈12月２日（金）〉（持ち回り）

【学外】

◎第85次国立七大学附属図書館協議会及び第10回国立七大学附属図書館長会議並びに第44回国立七大学附属図書館事務部課長会議〈11月１日（火）〉（名古屋大学）

◎国立大学図書館協会

○秋季理事会〈12月１日（木）〉（広島大学）

○北海道地区協会事務部課室長会議〈12月９日（金）〉（北海道大学）

○シンポジウム〈11月25日（金）〉（京都大学）〈２月７日（火）〉（東京大学）

◎国立七大学附属図書館事務部長懇談会〈12月21日（水）〉〈２月７日（火）〉（東京大学）

◎北海道図書館連絡会

○平成23年度第２回北海道図書館連絡会議〈12月15日（木）〉（北海道立図書館）

◎デジタルリポジトリ連合

○IR研修検討会議〈１月19日（木）〉（北海道大学）

◎北海道地区大学図書館協議会

○平成23年度第１回北海道地区大学図書館協議会幹事館会議〈11月25日（金）〉

○第55回北海道地区大学図書館職員研究集会企画委員会（第１回）〈１月20日（金）〉（札幌市立大学）

◎北海道図書館大会

○第54回北海道図書館大会第１回運営委員会〈12月15日（木）〉（北海道立図書館）

○第54回北海道図書館大会第２回運営委員会〈１月25日（水）〉（北海道立図書館）

◎日本医学図書館協会

○北海道地区総会〈１月26日（木）〉（北海道医療大学サテライトキャンパス）

人事往来（平成23年11月１日～平成24年２月29日）

【平成24年２月１日付発令】

[出向復帰]

嶺野　智康　附属図書館管理課（雑誌受入担当）（帯広畜産大学入試課入学試験係）

各委員会等委員変更について

委員の退職に伴い以下の委員会委員の変更がありました。

図書館委員会

所　　属	職名	氏　　名	任　　期	備　考
触媒化学研究センター	教授	大谷　文章	23.10. 1～24. 3.31	新任

学術成果発信小委員会

所　　属	職名	氏　　名	任　　期	備　考
触媒化学研究センター	教授	大谷　文章	23.10. 1～24. 3.31	新任

図書館情報入門･セミナー等開講日誌(平成23年11月１日～平成24年２月29日)

図書館情報入門（計３回）

日　程	曜日	講義題目（時間 90分）	所　　属	担当教員	受講人数
11月２日	水	数理的思考とコンピュータ：コンピュータは電気羊の夢を見るか?	情報科学研究科	工藤　峰一	21
12月15日	木	建築と都市	工学研究院	小澤　丈夫	9
１月31日	火	遺伝子デザイン学入門	地球環境科学研究院	山崎　健一	22
				受講人数計	52

文献探索ワークショップ（計３回）

日　程	曜日	講義題目	所　　属	担当教員	受講人数
11月４日	金	文献検索法を学ぶ	獣医学研究科	寺尾　　晶	40
11月21日	月	日本経済史	経済学研究科	内藤　隆夫	10
１月11日	水	看護研究I	保健科学研究院	鷲見　尚己	78
				受講人数計	128

データベース講習会（計７回）

日　程	曜日	題　　目	開講場所	受講人数
12月６日	火	SciFinder講習会（中級編）	工学部	11
12月７日	水	SciFinder講習会（基礎編）	薬学部	3
12月８日	木	SciFinder講習会（中級編）	附属図書館	2
12月８日	木	SciFinder講習会（中級編）	理学部	4
12月９日	金	SciFinder講習会（基礎編）	農学部	4
２月２日	木	SpringerProtocols講習会	農学部	5
２月３日	金	SpringerProtocols講習会	附属図書館	4
			受講人数計	33

ライブラリー・セミナー（計６回）

日　程	曜日	題　　目	開講場所	受講人数
１月19日	木	本を借りる・返却するには　20分で分かる図書館の使い方 1	附属図書館	1
１月26日	木	北大の本を探すには　20分で分かる図書館の使い方 2	附属図書館	2
２月２日	木	オンラインで貸出延長・予約してみよう　20分で分かる図書館の使い方 3	附属図書館	1
２月９日	木	自宅から電子ジャーナル・データベースを使うには　20分で分かる図書館の使い方 4	附属図書館	5
２月16日	木	新聞記事を探してみよう　20分で分かる図書館の使い方 5	附属図書館	8
２月23日	木	マイクロフィルム・マイクロフィッシュの使い方　20分で分かる図書館の使い方 6	附属図書館	10
			受講人数計	27

図書館日誌（平成23年11月１日～平成24年２月29日）

月日	項　　目
11月	
1	第5回図書選定小委員会職員委員定例会 第85次国立七大学附属図書館協議会・ 第10回国立七大学附属図書館長会議・ 第44回国立七大学附属図書館事務部課長会議 （名古屋大学）（館長，部長，管理課長）
1－2	平成23年度第3回情報処理技術セミナー（NII） （学術システム課）
2	JUSTICE講演会（北海道医療大学サテライト） （管理課，利用支援課） 第21回第2期改修工事定例会議（管理課） 第2回その他工事定例会議（管理課）
9	第22回第2期改修工事定例会議（管理課） 第3回その他工事定例会議（管理課）
9－11	第13回図書館総合展/学術情報オープンサミット （パシフィコ横浜）（管理課，利用支援課，学術システム課）
10	DRF全国ワークショップ（館長，部長，学術システム課） 情報基盤センター講演会
14-18	初任図書館職員研修（管理課，利用支援課，学術システム課）
15-18	図書館職員短期研修（東京大学）（利用支援課）
16	平成23年度第7回ホームページ委員会 平成23年度第3回図書選定小委員会 第23回第2期改修工事定例会議（管理課） 第4回その他工事定例会議（管理課）
22	第１回メディアコート等検討会 平成23年度第4回学術研究コンテンツ小委員会（持ち回り）
24	第5回その他工事定例会議（管理課）
25	第2回メディアコート等検討会 平成23年度国立大学図書館協会シンポジウム （京都大学）（利用支援課） 平成23年度第1回北海道地区大学図書館協議会幹事館 会議（利用支援課長，利用支援課課長補佐） ICカード対応説明会
28	第3回メディアコート等検討会
29	第4回メディアコート等検討会
30	第24回第2期改修工事定例会議（管理課） 第6回その他工事定例会議（管理課）
12月	
1	国立大学図書館協会秋季理事会（広島大学） （館長，部長，管理課長）
2	平成23年度第4回図書選定小委員会（持ち回り）
5－6	総合カウンター移転のため臨時閉館
6	図書館情報システム仕様策定委員会（学術システム課）
7	第5回メディアコート等検討会 第25回第2期改修工事定例会議（管理課） 第7回その他工事定例会議（管理課） DRF-Tech軽井沢（学術システム課）
7－9	平成23年度事務職員プレゼンテーションスキル講習会 （情報基盤センター）（利用支援課）
9	平成23年度国立大学図書館協会北海道地区協会事務部 課室長会議（学術交流会館）（部長，管理課長，利用 支援課長，学術システム課長）
14	第26回第2期改修工事定例会議（管理課） 第8回その他工事定例会議（管理課） 平成23年度第8回ホームページ委員会
15	平成23年度第2回北海道図書館連絡会議・ 「第54回（平成24年度）北海道図書館大会」 第1回運営委員会（北海道立図書館）（利用支援課長）
16	第6回図書選定小委員会職員委員定例会
21	第27回第2期改修工事定例会議（管理課） 第9回その他工事定例会議（管理課） 平成23年度第2回北海道地区大学図書館協議会幹事館 会議（持ち回り）（利用支援課長，利用支援課課長補佐） 国立七大学附属図書館事務部長懇談会（東京大学）（部長）
22	自衛消防訓練（本館）
1月	
10-4/30	「台湾に渡った北大卒業生たち」企画展示（北図書館）
11	第28回第2期改修工事定例会議（管理課） 第10回その他工事定例会議（管理課）
13	平成23年度第3回楡蔭編集委員会
18	第29回第2期改修工事定例会議（管理課） 第11回その他工事定例会議（管理課）
17	図書館情報システム導入説明会（部長、学術システム 課長，学術システム課） 国立大学図書館協会地区協会助成事業（学生協働）打 合せ（アカデミックサポートセンター）（利用支援課 長，北図書館）
17－4 /30	国立女性教育会館パッケージ貸出サービス（第４期） 開始（北図書館）
18	「図書館年鑑2012」第2回北海道ブロック会議(北海道 立図書館)(利用支援課長)
18-20	古典籍講習会（国文学研究資料館，国立国会図書館） (利用支援課)
19	デジタルリポジトリ連合IR研修検討会議（遠友学舎， エンレイソウ）（学術システム課）
20	第55回北海道地区大学図書館職員研究集会第1回企画 委員会（札幌市立大学）（管理課） ビブリオバトル in 北海道大学附属図書館 国立大学図書館協会地区協会助成事業（学生協働） 打合せ（学務部）（利用支援課長，北図書館）
24	電子教材・電子教科書に関する説明会（管理課，利用 支援課，学術システム課）
25	「第54回（平成24年度）北海道図書館大会」 第2回運営委員会（北海道立図書館）(利用支援課長) 平成23年度第9回ホームページ委員会 第30回第2期改修工事定例会議（管理課） 第12回その他工事定例会議（管理課）
26	日本医学図書館協会北海道地区総会（北海道医療大学 サテライトキャンパス）(利用支援課長，利用支援課)
27	出向者連絡会
2月	
1	第31回第2期改修工事定例会議（管理課） 第13回その他工事定例会議（管理課）
2	平成23年度第5回学術研究コンテンツ小委員会 国立大学図書館協会地区協会助成事業（学生協働） 打合せ（ピア・サポート）(利用支援課長，北図書館)
3	第1回電動式集密書架仕様策定委員会
7	国立大学図書館協会シンポジウム（東京大学） （副館長，部長） 国立七大学附属図書館事務部長懇談会（東京大学）(部長)
8	第32回第2期改修工事定例会議（管理課） 第14回その他工事定例会議（管理課）
9	平成23年度目録システム/ILLシステム講習会担当者会 議（NII）（学術システム課）
14	金沢大学CSI報告会「研究者と論文を結びつけるために ～研究者IDサミット２～」(大阪市立大学)(学術システム課)
15	第33回第2期改修工事定例会議（管理課） 第15回その他工事定例会議（管理課）
16-17	効果的外部資金獲得・運営セミナー（リサーチ・アド ミニストレータ入門編)(百年記念会館)(学術システム課)
21	第7回図書選定小委員会職員委員定例会
22	平成23年度第2回学術成果発信小委員会 平成23年度第10回ホームページ委員会 第34回第2期改修工事定例会議（管理課） 第16回その他工事定例会議（管理課）
28	JaLC，Plos One打合せ（NII）（学術システム課長， 学術システム課）
29	第５回SPARC Japan セミナー（NII)(学術システム課長) 第17回その他工事定例会議（管理課）

北海道大学附属図書館報「楡蔭」（ゆいん）　**第140号**　平成24年３月29日発行

〈編　集〉　「楡蔭」編集委員会

〈発　行〉　北海道大学附属図書館　〒060-0808　札幌市北区北８条西５丁目
TEL ： 011-706-2967　FAX ： 011-747-2855　ホームページ　http://www.lib.hokudai.ac.jp